

## 環境調査結果のお知らせ

本日午前、宇佐漁港周辺のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

採水サンプルを検鏡した結果、有害種のカレニア・ミキモイが最高で570cells/ml認められました。

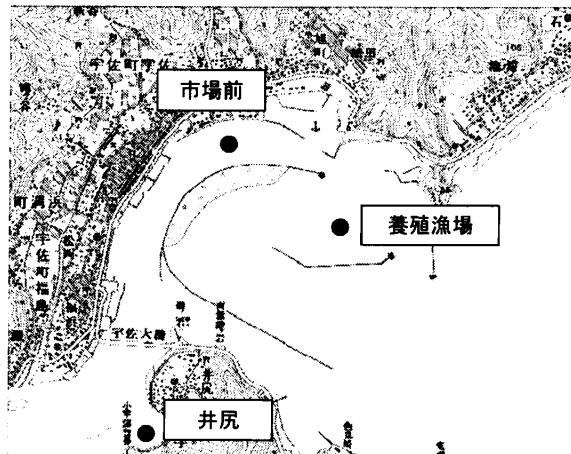
浦ノ内湾内は、広範囲でカレニア・ミキモイによる着色がみられており、降雨等による増殖や潮流等により拡大する恐れがあります。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ミキモイ	シャットネラ属	珪藻類
市場前 透明度:3.0	0m	570	0	2,400
	2m	300	0	700
	4m	294	0	780
養殖漁場 透明度:4.0	0m	9	0	5,800
	2m	30	1	4,950
	5m	46	0	3,600
井尻 透明度:3.6	0m	14	0	3,000
	2m	121	0	2,260
(参考) 光松 透明度:1.0	0m	94	0	1,500
	2m	15,750		200
	5m	31	0	500
(参考) 大鹿 透明度:1.4	0m	5,800	0	1,100
	0.5m*	14,000	0	0
	2m	4,480	1	0
(参考) 水試小割前 透明度:2.2	0m	78	0	300
	2m	56	0	1,350
	5m	575	0	1,500
	5m	45	0	680

\*クロロフィル極大層



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモイ  
数百～5,000cells/ml(魚類などのへい死)
- ・シャットネラ属:  
10～100cells/ml(魚類のへい死)